

第二十七回 帝國議會 貴族院議事速記録第三號

明治四十四年二月一日(水曜日)

午前十時三分開議

議事日程 第三號 明治四十四年二月一日

午前十時開議

- 第一 男爵尾崎三良君、男爵鍋島幹君、堀基君、宮島誠一郎君、清瀬善三君、橋本雄造君、岡谷惣助君請暇ノ件 第一讀會
- 第二 官吏恩給法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第三 官吏遺族扶助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則中改正法律案(政府提出) 第一讀會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔河井書記官朗讀〕

去月二十一日各常任委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

資格審査委員會

委員長 男爵波多野敬直君 副委員長 富井政章君

豫算委員會

委員長 子爵曾我祐準君 副委員長 子爵三島彌太郎君

懲罰委員會

委員長 伯爵柳原義光君 副委員長 子爵新莊直陳君

請願委員會

委員長 田中芳男君 副委員長 三宅秀君

決算委員會

委員長 伯爵廣澤金次郎君 副委員長 男爵石黒忠憲君

同日豫算委員會及決算委員會ニ於テ決定シタル分科及分科擔當委員ノ氏名左ノ如シ

豫算委員會

第一分科(大藏省)

伯爵柳澤保惠君 子爵稻垣太祥君 子爵松平親信君
男爵沖守固君 男爵紀俊秀君 石井省一郎君

中島永元君 仁尾惟茂君 濱口吉右衛門君
鎌田勝太郎君 桑田熊藏君

兼務

子爵曾我祐準君 子爵三島彌太郎君 木村誓太郎君

第二分科(外務省)

子爵堀河護麿君 淺田德則君 男爵目賀田種太郎君
男爵吉川重吉君 男爵長松篤棠君 男爵諫早家崇君
藤田四郎君 下條正雄君

兼務

子爵松平親信君

第三分科(內務省)

伯爵萬里小路通房君 伯爵德川達孝君 子爵曾我祐準君
子爵堤功長君 男爵高木兼寬君 男爵久保田讓君
千坂高雅君 山田春三君 木場貞長君
伊澤修二君 鎌田榮吉君

兼務

古澤滋君 仁尾惟茂君 廣海二三郎君

第四分科(陸軍省)

子爵本莊壽巨君 子爵樋口誠康君 子爵牧野忠篤君
男爵小澤武雄君 男爵有地品之允君 男爵野田豁通君
古澤滋君 男爵佐野延勝君 石黒五十二君

兼務

下條正雄君

第五分科(農商務省)

子爵加納久宜君 子爵大宮以季君 子爵青山幸宜君
子爵鳥居忠文君 子爵三島彌太郎君 子爵松平直平君
男爵田健治郎君 男爵武井守正君 男爵中島久万吉君

高橋新吉君 木村誓太郎君 廣海二三郎君

兼務 並木 和一君 日高榮三郎君 淺田 德則君 男爵有地 品之允君 男爵久保田 讓君 石井省一郎君 石黒五十二君 鎌田 勝太郎君

決算委員會

第一分科(歳入)

男爵尾崎 三良君 男爵北大路 實信君 小野 光景君 佐藤 秀藏君 絲原 武太郎君 本間 千代吉君 五十嵐 敬止君 澤原 俊雄君 伊藤 長次郎君

第二分科(外務省、内務省、司法省)

子爵黒田 和志君 子爵土御門 晴榮君 子爵舟橋 遂賢君 子爵毛利 元忠君 男爵石黒 忠惠君 江木 千之君 男爵若王子 文健君 男爵安場 末喜君 鳥越 貞敏君

第三分科(陸軍省、海軍省)

伯爵廣澤 金次郎君 子爵戸田 忠行君 子爵實吉 安純君 子爵永井 尚敏君 男爵外松 孫太郎君 男爵小早川 四郎君 加藤 正惠君 森 廣三郎君 下村辰右衛門君

第四分科(文部省、農商省、務省、逓信省)

伯爵中川 久任君 子爵藤谷 爲寛君 子爵細川 立興君 男爵辻 新次君 男爵高千穂 宣麿君 男爵平野 長祥君 男爵青 山元君 谷 森真男君 田島 竹之助君

同日請願委員會ニ於テ決定シタル分科、分科擔當委員及主査ノ氏名左ノ如シ

第一分科(大藏省)

男爵赤松 則良君 男爵南 光利君 安立 綱之君 櫻木嘉右衛門君 細谷 巖太郎君 谷 新助君 橋本 雄造君 吉野 周太郎君 谷井 勘藏君

第二分科(内閣(鐵道院ヲ除ク)、宮内省、内務省、陸軍省、海軍省、文部省)

主査男爵茨木 惟昭君 伯爵川村 鐵太郎君 子爵持明院 基哲君 子爵京極 高備君 子爵松平 乘長君 男爵相浦 紀道君

男爵原口 兼濟君 男爵金子 有卿君 三宅 秀君 第三分科(司法省、農商務省) 主査伯爵松平 頼壽君 子爵榎本 武憲君 小野田 元熙君 田中 芳男君 馬屋原 二郎君 岩元 信兵衛君 道源 權治君 宮崎喜久太郎君 河田與惣左衛門君

第四分科(外務省、逓信省、鐵道院)

主査男爵北島 齊孝君 子爵井上 匡四郎君 男爵藤枝 雅之君 男爵徳川 厚君 男爵楠本 正敏君 淺野 長太郎君 加藤 宇兵衛君 杉下太郎右衛門君 土居 通博君

商法中改正法律案外三件特別委員會

委員長 男爵波多野 敬甫君 副委員長 富井 政章君 同月二十五日請願委員長ヨリ請願文書表第一回報告書ヲ提出セリ 同日請願委員會ニ於テ分科擔當委員ヲ左ノ通變更セリ

第一分科擔當ヲ第二分科擔當ニ變更ス

伯爵川村 鐵太郎君 三宅 秀君

第二分科擔當ヲ第一分科擔當ニ變更ス

同日請願委員會第一分科ニ於テ決定シタル主査ノ氏名左ノ如シ 第一分科(大藏省) 主査 伯爵川村 鐵太郎君

同月二十六日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

大藏省所管事務政府委員

大藏書記官 長島 隆二君 大藏書記官 森 俊六郎君 同月二十八日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

官吏恩給法中改正法律案

官吏遺族扶助法中改正法律案

官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則中改正法律案

同月三十一日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

明治四十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

沖繩縣農工銀行補助ニ關スル法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、外務大臣小村伯爵

(國務大臣伯爵小村壽太郎君演壇ニ登ル)

○國務大臣(伯爵小村壽太郎君) 諸君、茲ニ本院ニ於テ外交ノ經過ニ關シ其概要ヲ演述スルノ機會ヲ得マシタノハ本大臣ノ最モ光榮ト致ス所デゴザリマス、帝國外交ノ方針ガ東洋ノ平和ヲ維持シ帝國ノ安固ヲ確保シ、併セテ帝國ノ利權ヲ擁護スルニ在ルコトハ、本大臣ノ曾テ本院ニ於テ開陳イタシタ所デゴザリマス、帝國政府ハ此方針ニ遵據イタシマシテ字内ノ形勢ニ適應シテ常ニ必要ナル措置ヲ執ルヲ怠ラザルヲ期シテ居リマス、帝國ト列國トノ關係ハ年ヲ逐ウテ益々敦厚トナリマシテ、其間ニ何等親交ヲ害スベキ事實ノ發生スルコト無キハ、本大臣ノ諸君ト共ニ最モ欣幸ト致ス所デゴザリマス、殊ニ日英同盟ハ年ト共ニ其鞏固ヲ加ヘ、日英兩國政府ノ意思ハ十分ニ相疏通シテ居リマシテ、該同盟ノ東洋平和ノ維持ニ資スル所、益々大ナルハ誠ニ慶賀ニ堪ヘザル次第デゴザリマス、昨年倫敦ニ開催サレマシタル日英博覽會ハ英國ノ皇室、竝ニ同國朝野ノ最モ深厚ナル庇護同情ノ下ニ遺憾ナク其目的ヲ遂ゲマシテ、我が同盟國國民ノ多數ハ該博覽會ニ付キマシテ親シク帝國文化ノ真相ト淵源ヲ知悉イタシマシテ、大ニ兩國國民ノ親睦ニ資スル所ガアッタノデアリマス、而シテ該博覽會ガ通商上ニ及ボシマシタル影響ニ至リマシテハ、其日英貿易將來ノ發展ニ資スル所大ナルベキハ本大臣ノ信ジテ疑ハス所デゴザリマス、次ニ日露ノ關係ガ益々親厚ヲ加フルニ至ルベキコトハ、本大臣ノ前議會ニ於テ既ニ開陳イタシテ置キマシタ所デゴザリマス、爾來、日露兩國政府ハ善鄰ノ交誼ヲ敦クシテ東洋ノ平和ヲ維持セムガため、互ニ腹藏ナク其意見ヲ交換イタシマシタル其結果、兩國ノ利害ガ滿洲ニ於テ相接觸セル事實ニ鑑ミマシテ、更ニ兩國間ニ一ノ協約ヲ締結シ、以テ前回ノ協約ヲ補成シ兩國ノ利害ヲ調和スルヲ以テ最モ適當ナリト認メマシテ、昨年七月、露都ニ於テ更ニ第二回日露協約ニ調印シタル次第デゴザリマス、世間或ハ該協約ガ何等カ危険ノ性質ヲ有スルヤノ疑ヒヲ懷ク者モアルヤウデゴザリマスルケレド

モ、該協約ハ前協約ノ主義ヲ確認シ且ツ其規定ヲ補充イタシマシテ、以テ滿洲ノ現狀ヲ維持シ、東洋ノ平和ヲ維持スルヲ唯一ノ目的トスルモノデアルコトハ、本大臣ノ茲ニ明確ニ宣言スルヲ憚ラナイ所デゴザリマス、該協約ノ締結後、日露兩國ノ交情ハ益々其敦キヲ加ヘマシテ、兩國政府ハ互ニ友好和衷ノ精神ヲ以テ、時々發生イタシマスル案件ヲ處理シツ、アリマスルノハ、本大臣ノ諸君ト共ニ深く満足ト致ス所デゴザリマス、次ニ韓國ニ關シマシテハ、帝國政府ハ東洋ノ平和ヲ維持シ帝國ノ安固ヲ確保セムガため、曩ニ韓國ヲ我が保護ノ下ニ置キ、銳意諸般ノ改革ヲ行ヒマシテ、努メテ豫期ノ目的ヲ達セムコトヲ期圖シタノデゴザリマス、然ルニ帝國政府ノ所期ハ保護ノ制度ニ依リ十分ニ之ヲ收ムルコトヲ得ザルノミナラズ、速ニ韓國ノ統治方法ニ對シテ根本的ノ改革ヲ加フルニアラザレバ遂ニ或ハ收拾スベカラザル事態ヲ生ズルノ虞ナキヲ保シ難キニ至リマシタカラ、政府ニ於キマシテハ己ムヲ得ズ斷然、韓國ノ併合ヲ實行スルコトニ決定イタシマシテ、昨年八月ヲ以テ其意ヲ韓國政府ニ致シタル次第デゴザリマス、韓國政府ニ於キマシテモ既ニ併合ノ己ムベカラザルコトヲ承認イタシマシテ、又韓國皇帝陛下ニ於カレマシテモ、大局ヲ洞觀セラレマシテ、日韓兩國ノ併合ヲ以テ相互永遠ノ幸福ニ合スルモノト認メラレマシタカラ、昨年八月二十二日ヲ以テ併合條約ノ調印ヲ了スルニ至ツタ次第デゴザリマス、此併合條約當然ノ結果ト致シマシテ、從來韓國ト列國ノ間ニ存在シテ居リマシタル條約ハ全然消滅ニ歸シマシテ、帝國ト諸外國トノ條約ガ之ニ代リテ朝鮮ニ行ハル、コト、ナリマシテ、之ト同時ニ從來、外國人ガ朝鮮ニ於テ有シテ居リマシタル治外法權ノ特典ハ全ク廢滅ニ歸スルコト、ナツタノデゴザリマス、蓋シ朝鮮ニ於テ外國人ヲシテ治外法權ヲ保有セシムルノハ、其統治ニ非常ナ不便ト不統一ヲ來タスノミナラズ、外國人ヲシテ既ニ日本本土ニ於ケルト同一ノ權利特典ヲ享有セシムル以上ハ、其治外法權モ亦之ヲ拋棄セシムルコト、固ヨリ當然ト認メマシタカラ、政府ニ於キマシテハ條約ノ消滅ヲ機ト致シテ、全然治外法權ヲ廢滅スルコト、致シタ次第デゴザリマス、又從來韓國ト諸外國トノ間ニ存在シテ居リマシタル協定稅率モ條約消滅ト同一ニ廢滅ニ歸シタル譯デゴザリマスルケレドモ、帝國政府ニ於キマシテハ、外國人ノ朝鮮ニ於テ有スル所ノ經濟上ノ利害ニ對シマシテ出來得ル限り不利ノ影響ヲ及ボサザラムコトヲ期シ、且ツ日鮮間ノ經濟關係ニ急激ナル變動ヲ加フルガ如キ措置モ之ヲ避クルヲ得策ト認

メマシタカラ、政府ハ協定税率ノ廢止トナレルニモ拘ラズ、其任意ノ處置ト致シテ十年間從來ノ關稅税率ヲ維持スルコトニ決定イタシタル次第ゴザリマス、前述ノ次第ハ韓國併合條約締結ノ事實ト共ニ、其當時之ヲ關係諸國ニ通牒シテ置キマシタ、列國ハ東洋ノ大勢ト帝國ノ地位トニ顧ミマシテ韓國併合ノ己ムヲ得ザル措置タルヲ諒承セルコトヲ茲ニ確言スルヲ得ルハ本大臣ノ喜ブ所ゴザリマス、次ニ條約改正ニ關シマシテハ、帝國政府ハ談判開始ニ關スル諸般ノ準備ヲ了ヘマシテ、維新以來ノ宏謨ニ基キ全然我ガ稅權ヲ恢復シ、且ツ從來ノ條約ニ存在シテ居リマスル不對等ノ條項ヲ除却スルノ趣旨ヲ以テ新條約案ヲ起草イタシマシテ、昨年七八月ノ交ヲ以テ現行條約廢棄ノ豫告ヲ關係諸國ニ發シマシテ、續イテ新條約案ヲ是等諸國ニ提出イタシマシタ、關係諸國中ニハ既ニ我ガ提案ノ審査ヲ了ヘマシテ其對案ヲ我ニ致シタルモノガアルノミナラズ、他ノ關係諸國ニ於キマシテモ、目下ソレノ我ガ對案ニ付キ、我ガ提案ニ付キ講究ヲ遂ゲツ、アル次第アリマス、政府ハ成ルベク速ニ關係諸國トノ間ニ全然對等ノ基礎ニ依リ新條約ヲ締結セムコトヲ期シマシテ、銳意談判ノ進行ニ努力シツ、アル次第ゴザリマス、殊ニ英國トノ條約改正談判ハ目下順當ニ進行シツ、アリマスルカラ、遠カラザル中ニ談判ノ終了ヲ告ゲ、日露兩國共ニ満足スベキ新條約ノ成立ヲ見ルニ至ルベキコトハ帝國政府ノ確信シテ居ル所ゴザリマス、外交ノ經過ハ大體唯今陳述イタシタ通りゴザイマスカラ、諸君宜シク御諒承アラムコトヲ希望シマス

○伯爵柳原義光君 本員ハ質問ヲ致シタイコトゴザイマスガ、宜シウゴザイマスカ、外務大臣ニ對シテ……宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 無論宜カラウト存ジマス

○伯爵柳原義光君 ソレデハ質問ヲ致シマス、唯今縷々御述べニナリマシタ中ニ……此程不幸ニシテ我國ニ於テ發生シタル所ノ謂ハユル無政府主義者ノ或ル標榜シテ居ッタ事柄ヲ、外國ノ謂ハユル穩健ナル意味ニ於ケル社會政策主義者ガ往々誤解ヲシテ、其内容ノ如何ヲ知ラズシテ一種ノ聲援ヲ與フルガ如キコトガ、新聞ニモ出テ居リマスシ、又彼ノ國ノ穩健ナル社會主義者、社會政策主義者ガ我國ノ無政府主義者ヲ誤解シテ居ルヤウナコトデアアルガ、其點ニ於テ外務大臣ハ相當ノ途ヲ以テ彼ノ國ノ者ニ御辯解ニナッテ居ルコト、ハ思ヒマスケレドモ、如何ノモノゴザイマスカ、ソレヲ伺ヒタイノゴザイマス

〔國務大臣伯爵小村壽太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵小村壽太郎君) 今回ノ不祥ナル事件ニ付キマシテハ、此事件ノ事實ハ悉ク海外ニ分ッテ居リマス、故ニ殊サラ誤解ヲスル者ヲ除キマシテハ、他ニ誤解ノ餘地ハ無イト考ヘテ居リマス

○伯爵大木遠吉君 私モ外務大臣ニ御尋ネシタイコトガアリマス、唯今外務大臣ノ御演說ニハ、此日英兩國ノ博覽會ノ關係其外至極親善デアアル、元モ親善デアッタガ愈、親善デアルト云フ御演說デアリマシタ、ソレハサウデアッタカモ知レヌ、併ナガラ私ノ承ル所ニ依ルト、博覽會ハ餘リ好成績デ無クテアッタヤウニ聞イテ居リマスガ、マア外務大臣トシテハ御職掌上、自畫自贊的ノ御報告モソレハ多少ハ諒トシテ宜シイ、併ナガラ此關稅定率……昨年議會ニ於テ關稅ノ定率ガ決マリマシタコトニ付イテ、英國ノ政府筋ハ如何カ知レマセヌガ、此實業社會、即チ英國國民ハ甚シキ不満足ヲ以テ之ヲ見テ居ル、其結果其相談モ思フヤウニ進ミ兼ネテ大ニ政府モ困ッテ居ラル、ヤウニ仄ニ承ッテ居リマスガ、果シテ左様ナ事實ガアリマスカ、而シテ果シテソレガ事實デアリトスレバ唯今御述べニナラレタガ如キ英國ト……日英同盟ハ愈、鞏固デアアル、而シテ英國ト實際上ノ親善ハ寸毫モ變ラヌノミナラズ日一日其親交ヲ敦クスルト言ハル、ヤウナ御話デアリマスガ、一向影響ハアリマセヌカ、尙ホ唯今御協商中デアルト云フ御話デアアルガ、結局既ニ定マリマシタ所ノ關稅定率ニ寸毫ノ變化ナシニ若クハ關稅定率ト非常ナル差ノ無キ或ハ協定、一種ノ協定、斯ノ如キコトハ不利益デアアルカラナサヌト云フコトヲ小村外務大臣ハ二十六議會ニ述ベラレタト記憶シテ居リマス、謂ハユル片務協定デアアルカラスノ如キコトハ不利デアアルカラナサヌト云フコトヲ明言サレタヤウニ記憶シテ居リマス、其當時ノ御說明ハ甚ダ明快ニシテ本員等ノ最モ頼モシク伺ッタ次第デアリマシタ、ト云フモノハ十分ナル熟議ヲ經、及十分ナル確信ガ立ッタ後ニ言ヒ得ルガ如キ言葉ヲ明カニ述ベラレタガ故ニ、我々ハ甚ダ此言ニ信賴ヲ置イテ居ッタニ拘ラズ、今日仄ニ承ル所ニ依ルト、サマデ小村外相ガ言ハレタ程ニ事ガ練レテ居ラナカッタヤウニ聞イテ居ル、故ニ今日政府ハ困ッテ居ラレルヤウニ聞イテ居ル、ソレハ何レモ齊東野人ノ語デ別ニ憂慮スルニ足ラヌコトデアリトスレバ、我々ノ満足スル所デアアル、幾分ニテモ之ニ多少今ノ風説ニシテ信ズベキコトガアルトスレバ由々シキ大事デアルト本員ハ思フ、故ニ願ハクハ既ニ議會ノ協贊ヲ經タル關稅法案ニ少シノ

變化モ無シ又此國威ニ更ニ汚辱ヲ來タサザル底ノ御協商ガ成立スレバ勿論何等申分ハアリマセヌガ、寸毫モ此點ニ於テ毀損スルト云フ懸念ガアリトスレバ我々ハ憂慮ニ堪ヘヌ次第デ、今日ハ御協商中デアラウカラ悉ク露白ナサルコトハ出來マイ、サリナガラ御協商ノ大要及歸著スル所ハドノ邊ニ在ルト云フコトヲ御差支ナイ限リ此席ニ於テ我々ニ御聞カセアラムコトヲ希望スルノデアリマス、唯今ノ一片ノ形式的ノ御演說ダケハ我々ハ満足イタスコトガ出來ナイ、由來強ヒテ泰平無事ヲ裝フノハ謂ハユル群小ノ爲ス仕業デ賢明ナル内閣諸公ヲ群小ト云フノハ甚ダ僭越デアルガ、サリナガラ群小ノ泰平無事ヲ裝フコトハ一定ノ型デアルト思フ、或ハ恐ル、内閣諸公ガ強ヒテ泰平ヲ裝ウテ我々ニ一時ノ安ヲ與ヘルト云フヤウナ御考ヘデアルトスレバ甚ダ誠意ヲ闕ク譯デアルガ、マサカサウ云フヤウナコトデアハアルマイト思フ、サリナガラ唯今御述ベニナツタダケノコトデハ、我々、殊ニ本員ハ頭ガ明晰デナイカ、ドウモ分ラナイ、ドウ云フ御趣意デアルカ、歸著ガ何所マデ行クト云フヤウナコトハ、ソレハマダ未決ノコトデアルカラ、今日其結論ヲ御述ベニナルコトハ伺ヒタクモナシ、又強ヒテ難キヲ責ムルハ要ラナイコトデアアル、併ナガラドウ云フ方法ニシテ、ドウヤレバドウナルト云フコトモ伺フテ置ク必要ガアリ、御述ベクダサル義務モアラウト思フ、殊ニ日英ノ協商ニ付イテ是ガ進ミツ、アル故ニ……是ハ私ノ聽損ヒデアッタカモ知レナイガ、日英ノ協商ニ付イテハ圓滿ニ進ミツ、アルガ故ニ日露ノ關係モ宜イト云フヤウナコトヲ今一口仰シヤッタヤウデアアル、ソレハ御言葉違ヒデアッタカ我輩ノ聽キ様ノ違ヒデアッタカ知ラス、何等カソコニ意味ノアルコトデアレバソレヲ承リタイ、此點ヲドウカ甚ダ恐縮デスガ、モウ一應此關稅ニ付イテ英國トノ御協商ノ内容ハ逐一ニハ承ラヌガ、大體ダケヲ今少シ御丁寧ニ御述ベテ願ヒタイ

〔國務大臣伯爵小村壽太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵小村壽太郎君) 第一、日英博覽會ノ成功ト云フコトニ付キマシテハ政府ニ於テハ各方面カラ得タル情報ヲ綜合シマシテ成功ト云フコトヲ認メテ先刻此事ヲ明言イタシタ次第デゴザイマス、此博覽會ニ付キマシテハ御承知ノ通り英國ノ皇室ヲ始メトシテ朝野ノ名士ノ同情ヲ以テ大ニ成功ヲ助ケタト云フコトハ我々國民トシテ感謝ヲ表セヌケレバナラス次第ト考ヘテ居リマス、次ニ此關稅問題ノコトニ付イテ御質問ガゴザイマシタガ、今回ノ條約改正ニ關シマス政府ノ方針ハ前議會ニ於テ明言イタシタ通りデゴザイマ

シテ、此方針ハ寸毫モ變更セヌ覺悟デゴザイマス、而シテ條約改正ニ關スル日英間ノ交渉ニ關シマシテハ目下談判中デゴザイマスカラ、適當ノ時期ニ達スルマデハ遺憾ナガラ其内容ヲ言明イタスコトハ出來マセヌ、宜シク御了承ヲ願ヒタイ、又最後ニ此日英、日露ト云フコトニ付イテ御話ガゴザイマシタガ、此英國トノ條約改正談判ノコトヲ申上ゲルトキニ、或ハ私ガ誤ッテ露國ト申上ゲタカモ知レマセヌ、條約改正ニ關シマシテハ英露ノ間ニ何等關係ハゴザイマセヌカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○子爵會我祐準君 私モ一言質問イタシタウゴザイマス、外務大臣ニ御尋ネシタイコトハ、昨今或ル新聞ヲ見マス、清國ト露國トノ間ニ蒙古地方ノコトニ付イテ多少ノ葛藤ガ起ラムトシツ、アル如ク見エマスガ、果シテ事實デアリマセウカ、一片ノ新聞ニ必シモ信ヲ置クコトハ出來マセヌケレドモ、又勢ヒ隨分葛藤ノ生ズベキ所ト本員等ハ豫ネテ見テ居ル所、即チ清國ト露國トノ間ニ蒙古ニ付イテノ葛藤トスレバ隨分アリ得ベキコトノヤウニ思ヒマスニ依ッテ或ハ事實デハ無イカト思ヒマスガ、外務省ニ於テハ何カ之ニ付イテ御聞込ノコトガゴザイマスカ、又漏シ得ラル、限リノコトヲ承リタウゴザイマス

〔國務大臣伯爵小村壽太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵小村壽太郎君) 唯今ノ御尋ネハ蒙古ニ於テ露清間ニ何カ葛藤ヲ生ジテ居ルコトデアアルガドウカ……

〔子爵會我祐準君「左様デゴザイマス」ト述フ〕

成ルホド新聞紙上デハ斯ル記事ヲ見マシタデゴザイマスガ、政府ニ於テハ如何ナル方面ヨリモ、マダ何等ノ報告モ得テ居リマセヌ、尙ホ事實ガ確ニナリマシタナラバ更ニ又御答ヘ致スコトニ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、男爵尾崎三良君、男爵鍋島幹君、堀基君、宮島誠一郎君、清瀨善三君、橋本雄造君、岡谷惣助君請暇ノ件、尾崎男爵病氣ニ付キ十日間、鍋島男爵病氣ニ付キ二十一日間、堀君病氣ニ付キ二十三日間、宮島君病氣ニ付キ會期中、清瀨君病氣ニ付キ十日間、橋本君病氣ニ付キ二十三日間、岡谷君病氣ニ付キ九日間ノ請暇デアリマス、許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、官吏恩給法中改正法律案、政府提出、第一讀會、第三、官吏遺族扶助法中改正法律案、政府提出、第一讀會、第四、官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則中改正法律案、政府提出、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

官吏恩給法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治四十四年一月二十八日

内閣總理大臣兼 臣侯爵桂 太郎
 大藏大臣 臣侯爵寺内 正毅
 陸軍大臣 臣伯爵小村 壽太郎
 外務大臣 臣伯爵藤 實
 海軍大臣 臣伯爵田 東助
 農商務大臣 臣男爵大浦 兼武
 遞信大臣 臣男爵後藤 新平
 文部大臣 小松原英太郎
 司法大臣 臣子爵岡部 長職

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

官吏恩給法中改正法律案

官吏恩給法中左ノ通改正ス

第九條第三號中「郡區判任官」ノ下ニ「及臺灣總督府地方廳稅務吏」ヲ加フ

第十四條中「郡區判任官」ノ下ニ「及臺灣總督府地方廳稅務吏」ヲ加フ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔東久世書記官朗讀〕

官吏遺族扶助法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治四十四年一月二十八日

官吏遺族扶助法中改正法律案

官吏遺族扶助法中左ノ通改正ス

第三條第二項中「郡判任官」ノ下ニ「及臺灣總督府地方廳稅務吏」ヲ加フ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔東久世書記官朗讀〕

官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治四十四年一月二十八日

内閣總理大臣兼 臣侯爵桂 太郎
 大藏大臣 臣侯爵寺内 正毅
 陸軍大臣 臣伯爵小村 壽太郎
 外務大臣 臣伯爵藤 實
 海軍大臣 臣男爵田 東助
 農商務大臣 臣男爵大浦 兼武
 遞信大臣 臣男爵後藤 新平
 文部大臣 小松原英太郎
 司法大臣 臣子爵岡部 長職

官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則中改正法律案

官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則中左ノ通改正ス
第五條中「郡判任官」ノ下ニ「及臺灣總督府地方廳稅務吏」ヲ加フ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 本案三件ハ互ニ關聯イタシテ居リマシテ、極メテ簡單ナル案デゴザイマス、現行ノ恩給法ニ據リマスレバ、政府ヨリ俸給ヲ受ケザル所ノ官吏ハ恩給ヲ受ケル資格ガ無イト云フコトニナツテ居リマス、唯ソレニ一ツノ例外ガゴザイマシテ、即チ郡ノ判任官デゴザイマス、臺灣ノ總督府地方廳ニ屬シマス所ノ稅務吏ハ地方稅ノ支辨ヲ受ケテ居ル所ノ官吏デアリマスルガ故ニ、當リ前デゴザイマスレバ恩給法ニ據ッテ恩給ヲ受ケ及遺族扶助法ニ據ッテ扶助料ヲ受ケル權利ガ無イノデゴザイマスカラ、此案ニ據リマシテ其關點ヲ濟ハムト致スノデアリマス、御贊成アラムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、第三、第四ハ同一委員ニ付託シテ御異存アリマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長期讀〕

官吏恩給法中改正法律案外二件特別委員

公爵岩倉 具張君	伯爵松平 賴壽君	子爵榎本 武憲君
子爵京極 高備君	田邊 輝實君	男爵高千穂 宣鷹君
男爵楠本 正敏君	安立 綱之君	市川 文藏君

○議長(公爵德川家達君) 此際、諸君ニ御諮リヲ致シマス、明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案、第一號、明治四十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第一號、此二案ノ審査期限ヲ定ムル爲ニ議事日程ノ追加ヲ致シテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

(第一號)明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年一月三十一日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

(特第一號)明治四十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年一月三十一日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 國務大臣寺内子爵

〔國務大臣子爵寺内正毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵寺内正毅君) 諸君、唯今追加ニナリマシタ四十三年度ノ追加豫算デゴザイマス、是ハ朝鮮總督府ノ二月三月ニ使用イタシマスル經費デゴザイマス、御承知ノ如ク朝鮮ヲ昨年併合イタシマシテ、十月一日ヨリ朝鮮總督府ヲ置カレマシタ、十月ヨリ一月マデノ經費ハ已ムヲ得ズ政府ハ前キニ支出ヲ致シマシタノデアリマス、付キマシテハ丁度議會開會中デゴザイマス爲ニ二月三月ノヲ提出イタシテ協贊ヲ求メル譯デゴザイマス、既ニ此二月初メヨリノ必要ナ經費デゴザイマス、或ハ順當デハゴザイマセスカ知レマセスカ、至急ヲ要スルノデ、成ルベクハ今日御即決ニナルヤウニ希望イタスノデアリマス、ドウカ其様ニ願ヒタイト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 唯今問題ニナツテ居リマス二案ハ一週間ノ期日ヲ以テ審査イタシタク考ヘマス、諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

○伯爵大木遠吉君 贊成

○子爵三島彌太郎君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ一週間ト云フ審査期限ニ對シテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ノ議事日程ハ決定次第
アトヨリ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス
午前十時四十八分散會